

製品名: アンジオポエチン 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab03349**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 58 kDa; Observed MW: 58 kDa

抗原情報

遺伝子名	ANGPT1
別名	ANGPT1; KIAA0003; Angiopoietin-1; ANG-1
遺伝子 ID	284
SwissProt ID	Q15389
免疫原	ヒトアンジオポエチン 1 の合成ペプチド

背景

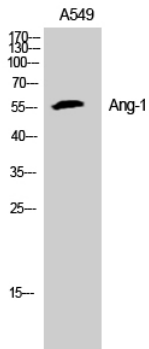
TEK/TIE2 受容体に結合し、二量体形成およびチロシンリン酸化を誘導することで活性化します。血管新生、内皮細胞の生存、増殖、遊走、接着および細胞伸展、アクチン細胞骨格の再編成、さらには血管静止状態の維持の調節に重要な役割を果たします。胚発生期

には正常な血管新生と心臓の発達に必須です。出生後は、状況に応じて血管新生を活性化または阻害します。

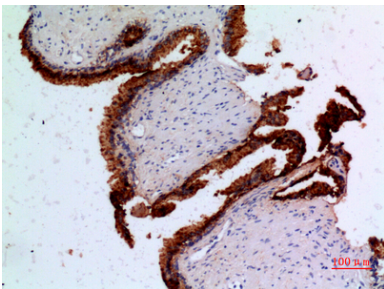
研究分野

癌

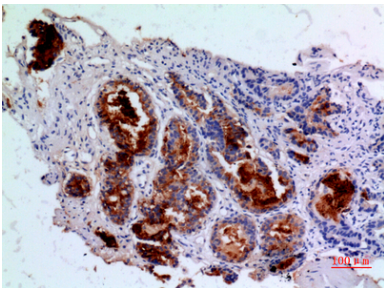
画像データ



アンジオポエチン 1 抗体を使用した A549、K562 溶解物中のアンジオポエチン 1 のウエスタン プロット分析。



アンジオポエチン 1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



アンジオポエチン 1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。